

## 地域力・国際ビジネスの向上を目指し 三市一村、愛知大学と連携協定

飛騨地域三市一村（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）と愛知大学（豊橋市）は7月3日、「地域力」や「国際ビジネス」を中心とした多様な分野での連携協定を結び、市役所で佐藤元彦学長と三市一村の首長が協定書を取り交わしました。

飛騨地域が抱える過疎化や少子高齢化などの課題に連携して取り組み、地域社会の発展につなげます。

また、同大学は、11月に開催されるオープンカレッジin飛騨（主催：飛騨・世界生活センター活用推進協議会）で講座を開講します。



左より、國島市長、井上飛騨市長、佐藤愛知大学長、野村下呂市長、成原白川村長

## 地球温暖化対策の推進を目指し 千代田区と連携協定

市と東京都千代田区は6月26日、地球温暖化対策の一環として、森林整備協定を締結しました。

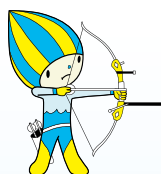
これは、市有林を間伐することで吸収される二酸化炭素の量を同区の二酸化炭素排出量と相殺させるもので、「カーボンオフセット」と呼ばれるものです。

2022年までの10年間、一之宮町にある市有林の間伐を連携して行うことで、4290トンの二酸化炭素吸収量が見込まれます。これは同区的一般家庭が1年間に排出するCO2の約1130世帯分に相当する量です。

なお、今回の協定では、環境や観光などで交流活動を推進していくことも盛り込まれました。



國島市長(左)と石川雅己千代田区長(右)



# アーチェリーを応援しよう！

国体だより②

ぎふ清流国体アーチェリー競技は、10月2日(火)～4日(木)の間、中山公園陸上競技場で開催されます。全神経を集中させ放たれた矢が、70m先の的に命中するようすは必見です。

今回の国体だよりでは、大会への出場が期待される選手たちに、本番に向けての意気込み、市民のみなさんへのメッセージをいただきましたので紹介します。



### ■長岡光江選手（岐阜県体育協会）

この競技は、自分をいかにコントロールできるかがポイントとなります。市民のみなさんには、会場にきていただき、矢が的をとらえるときの臨場感を味わっていただきたいです。

また、今回の大会は地元開催ということもあり、これまでお世話になった方々に結果を出すことで恩返ししたいと思っています。今回の大会がきっかけとなり、高山がアーチェリーの盛んなまちとなることを願っています。



### ■長瀬友里選手（高山西高校3年）

高校3年生という一番充実した時期に、地元で国体が開催されることとなり、大変ありがたく感じています。

高山の地で、みなさんのやさしさの中で育てられ、ここまで自分を高めていただきました。試合ではベストを尽くし、最高の結果を出したいと思っています。



### ■倉坪綺選手（高山西高校2年）

アーチェリーは、父親の影響で小学校4年生のころからはじめました。この競技は、的の真ん中をとらえたときの爽快感が一番の魅力です。

地元開催ということで、結果にかかわらず、精一杯がんばりたいと思っています。応援よろしくをお願いします。



高山西高校で練習する選手たちのようす

帰省される市外の親類やご友人に、ふるさと納税をご紹介します。「飛騨高山ふるさと基金」<http://www.city.takayama.lg.jp/kikaku/kihu.html>

2012.7.15



印刷／飛騨印刷株式会社

古紙・リサイクル配合率100%再生紙を使用